

石 仏 散 歩

すとーん・さーくる

No.109

発行 新潟県石仏の会(代表 星野 紀子)

2020年7月25日 発行

事務局 ☎945-0837 柏崎市三島町16-2 渡邊三四一 電話0257-22-1941

ホームページ <http://niigata-sekibutu.voxx.jp>

石 仏 散 歩



大巖寺高原の石仏群（不動社）



蔵王権現



柄杓を甕に添える



ハイタッチ!?



あーらよ出前一丁？



お下げがカワイイ



金剛夜叉明王（五大明王の一つ）

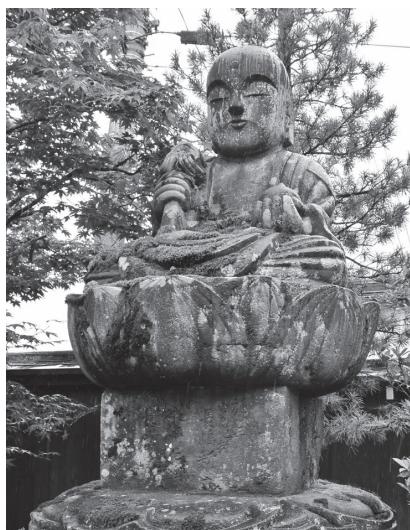
コロナ禍の五月連休、長い巣ごもりに居たたまらず、人里離れた石仏を訪ねようと思つた。を目指すは旧松之山町の最奥部・大巖寺高原。いまはキャンプ場で知られるが、牧場に面した高台に不動社があり、修験者が関与した五〇基余りの石仏群が祀られている。今から二十年ほど前、故阿部茂雄先生のご案内で初めて訪ね、ユニークな石神仏たちの像容や姿態が強く印象に残つた。

高原の牧場はブナの芽吹きを迎えていたが、足もとはまだ一面の雪であった。途中で車を降り、熊除けの鈴を腰に下げ、坂道を不動社へと向かつた。幸い日当たりのよい境内に雪はなく、目的の石神仏たちとの再会を果たせた。

柏崎市 渡邊 三四一

左足を蹴り上げた姿の蔵王権現が判るくらいで、あとは皆目検討がつかない。阿部先生の言葉を借りれば「奇想天外な石仏」たちで溢れている。この時世、大自然の中での気分転換に打つてつけである。

石仏群は五列に並び、一番奥に不動明王を真ん中にした五大明王が立つ。五大明王石仏は儀軌に適っていて判断しやすいが、その他の石神仏については、左足を蹴り上げた姿の蔵王権現が判るくらいで、あとは皆目検討がつかない。阿部先生の言葉を借りれば「奇想天外な石仏」たちで溢れている。この時世、大自然の中での気分転換に打つてつけである。



巨頭の地蔵石仏（円融寺）

わたしからは長岡市村松町から蓬平にかけての石仏をオススメしたい。出発地点は村松町の円融寺だ。寺門をくぐり抜けた左手には頭でつかちな大きな地蔵が立ち、愛嬌のある姿で出迎えてくれる。本堂内の木像の薬師如来像や十二神将のほか、境内中央には墓地にあつた如意輪観音や地蔵が集積され、見所がいくつかある。

円融寺前から二十村郷に向かう旧街道を進むと、左手に閻魔堂がある。中央に二メートルを越える閻魔像、向かって左側に地蔵、右側に阿弥陀如来が並ぶ。閻魔像は石像に彩色され、ひときわ異彩を放つ。石材には安山岩で比較的柔らかい岩石である釜沢石が用いられている。ここで釜沢石の特徴をしっかりと覚えると、その後の石仏めぐりが数倍楽しめるはずだ。

蓬平方面に向かう途中には左手に延命地蔵や不動明王が祀られており、二十村郷には多種多様の石仏がある。出かける際は平成二二年に刊行された「二十村郷の石仏」のガイドマップを忘れずに準備してほしい。

八月末日までは長岡市内宿泊・日帰り旅行応援キャンペーんというお得な割引がある。

温泉や自然、季節

の料理で

コロナ禍

の疲れを

癒しつつ、

石仏めぐ

りを楽し

んでいた

だきたい。



彩色の閻魔石仏



札所巡り入口に立つ如意輪観音

特集 長岡市のおすすめ石仏

村松町の閻魔堂と二十村郷の石仏

長岡市 大 楽 和 正

小国町の石仏案内

長岡市 荒 井

昭

① 千谷沢集落の三十三所観音

昭和七年、龍光院裏山に戦死した兵士の鎮魂を願い、婦人会が発起人となり住職の尽力で開山。西国三十三番札所靈場の土を戴き、建立石仏の台座下に収めました。

一巡すると札所巡りの功德が授かります。順路は整備され眺望もよく、小鳥の囀りを聞きながら一時間ほどで一巡できます。

② 八王子集落の石仏を訪ねる

集落の多彩な石仏は、旧小国町の文化財に指定。注目の一體は地蔵堂境内に並ぶ数体の地蔵のなかに、隠れキリシタンが建立と伝えるマリア地蔵です。探すポイントは、手にする錫杖に十字架が刻まれていると。石仏巡りのあと、近くのステーキハウスで食事を楽しみ石仏談義をどうぞ。



このなかにマリア地蔵が…（地蔵堂）

柄尾市街地の石仏巡り

長岡市 星野紀子

市街地の長岡市柄尾美術館や火伏の神・秋葉神社周辺の石仏に焦点を当ててみた。

①は美術館地内に建立する「米山講供養塔」、銘を刻んだ塔は米の形をした大きな自然石で、何度も移転され、移転のたびに基台が増え「成長する米山塔」とも呼ばれている。「米山薬師如来」と刻まれた石塔とすぐ下の基台は天保年間の造立だが、

二番目の台は明治三十二年に米山講菓子商の建立で、現存する菓子屋の名もある。三番目は米山塔建立百年祭記念と刻まれ、昭和十年五月修理したときの台、四番目は昭和三十一年九月に移転記念として作られ、奉納菓子商の名が並ぶ。

最後の基台は薬師塔の下ではなく、塔の前に置かれている。柄尾美術館ができたとき柄尾市菓子商組合が薬師塔移転記念として今の位置に造った。昭和五十三年四月の銘があり、身近な菓子店名が刻まれている。美術館建設と共に削られた通称「七曲り」に建立されていた三十三所観音も同敷地内に移転されている②。嘉永年間の造立であるが、奉納者名に機の町として全盛

を誇っていたころの企業が名を連ねている。

秋葉神社駐車場には優に三メートルを超えるであろう一石に八十八仏を刻んだ四国八十八ヶ所供養塔をはじめ、養蚕や染めに関わる塔、弥彦神社供養塔等々十基が並ぶ。

また、神社境内の狛犬には因州藍屋中の名を見ることができる。秋葉神社境内には油揚げ定食を提供する割烹もあり、こちらも楽しんでみてはいかが…。



② 三十三所観音（同）



① 成長する米山塔（美術館）

